

【招待状 文面】

A-01	両親用 (媒酌人あり)
謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます このたび ○○○様ご夫妻のご媒酌により 両名の婚約相整い結婚式を挙げることに なりました つきましては 幾久しくご懇情を賜りたく 披露かたがた粗簍をご用意いたしました ご多用中まことに恐縮ではございますが ご臨席いただきましたく ご案内申し上げます 謹 白	

A-03	両親用 (媒酌人なし)
謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます このたび ○○○男 ○○○女 両名の婚約相整い結婚式を挙げることに なりました つきましては 親しい皆様のお力添えを いただきたく ささやかながら 小宴をもうけました おいそがしい中と存じますが ご出席くださいますよう ご案内申し上げます 謹 白	

D-01	人前式用 (親名義)
謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます このたび ○○○男 ○○○女 両名の婚約相整い結婚式を挙げることに なりました つきましては 幾久しくご懇情を賜りたく 披露かたがたささやかな宴をご用意いたしました ご多用中まことに恐縮ではございますが ご臨席いただきたく ご案内申し上げます なお 本人たちの希望により 人前結婚式とさせていただきます まことに恐縮ではございますが 皆様に立会人となって見届けていただければ 幸いに存じます 謹 白	

B-01	本人用 (媒酌人あり)
謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます このたび ○○○様ご夫妻のご媒酌により 私たちは結婚式を挙げることに なりました つきましては 日頃お世話になっている皆様 に 私たちの門出を見守っていただきたく ささやかながら 小宴をもうけました おいそがしい中まことに恐縮ですが ぜひご出席くださいますよう ご案内申し上げます 謹 白	

B-03	本人用 (媒酌人なし)
謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます このたび 私たちは結婚式を挙げることに なりました つきましては 親しい皆様のお力添えを いただきたく ささやかながら 小宴をもうけました おいそがしい中と存じますが ご出席くださいますよう ご案内申し上げます 謹 白	

D-02	人前式用 (本人名義)
謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます このたび 私たちは結婚式を挙げることに なりました 日頃お世話になっている皆様に 立会人となつて 見守っていただきたく存じます 挙式後 ささやかな披露宴を催しますので ご多用中まことに恐縮ではございますが なにとぞご臨席賜りますよう ご案内申し上げます 謹 白	

C-01	連名用 (親名義)
○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます このたび ○○○男 ○○○女 両名の婚約相整い結婚式を挙げることに なりました つきましては 幾久しくご懇情を賜りたく 披露かたがたささやかな宴をご用意いたしました ご多用中まことに恐縮ではございますが ご臨席いただきたく ご案内申し上げます 私たちふたりは結婚することとなりました 新しい人生の門出を見守っていただければ幸い に存じます 今後とも未永くご指導のほどよろしく お願い申し上げます ○○ ○○ ○○ ○○	

C-02	連名用 (本人名義)
○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます このたび 私どもの婚約が整い結婚式を挙げる ことになりました つきましては 微力な私たちにお励ましを いただきたく ささやかながら 小宴をもうけました ご多用中まことに恐縮ではございますが ご出席くださいますよう ご案内申し上げます ご多用中まことに恐縮に存じますが 結婚式にも ご列席賜りたく 当日 時 分迄に お越しくださいますようお願い申し上げます ○○ ○○ ○○ ○○	

G-01	入籍済み (本人名義)
謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます さて 私ども両名はすでに入籍をすませ 新しい生活をはじめております このたび遅ればせながら結婚式を挙げることに なりました つきましては今後ともご指導のほど お願い申し上げます 披露かたがた粗簍をご用意いたしましたので ご多用中まことに恐縮ではございますが ご臨席くださいますようご案内申し上げます 謹 白	

【季語】

1月	初春の候	7月	盛夏の候
2月	向春の候	8月	早涼の候
3月	早春の候	9月	初秋の候
4月	春陽の候	10月	爽秋の候
5月	新緑の候	11月	初霜の候
6月	初夏の候	12月	初冬の候

招待状の発送月に合わせます。
他にご希望のある場合は備考欄にお知らせください。

【ふせん 文面】

【定型】乾杯	追 伸 まことに恐れ入りますが 当日披露宴にて 乾杯のご発声を賜りたくお願い申し上げます
【定型】祝辞	追 伸 まことに恐れ入りますが 当日披露宴にて ご祝辞を賜りたくお願い申し上げます
【定型】拳式	追 伸 ご多用中恐縮に存じますが 結婚式にも ご列席賜りたく 当日 時 分迄に お越しくださいますようお願い申し上げます

【定型】受付	追 伸 まことに恐れ入りますが 当日は受付係を お願い致したく 時 分迄に お越しくださいますようお願い申し上げます
【定型】余興	追 伸 まことに恐れ入りますが 当日 余興を ご披露くださいますようお願い申し上げます
オリジナル	◎ 全文をご指示ください (※2種類まで)

■ 新郎氏名 ふりがな		■ 続柄 男	■ 新郎親の氏名 ふりがな
■ 新婦氏名 ふりがな	■ (旧姓) ※記載が必要な場合	■ 続柄 女	■ 新婦親の氏名 ふりがな
			■ 媒酌人 様ご夫妻

■ 婚礼日 年 月 日 曜日	■ 招待状発送月 月 吉日	■ 返信日 月 日までに
--------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------

挙式	■ 挙式会場	■ 挙式時間	■ 受付時間 (必要な場合にご記載ください)
		時 分	時 分
	■ 住所 ■ 電話番号		

披露宴	■ 披露宴会場 ☐ 挙式と同じ場所	■ 披露宴時間	■ 受付時間 (必要な場合にご記載ください)
		時 分	時 分
	■ 住所 ■ 電話番号		
◎ 神前式など、一部のゲストが披露宴から参加の場合披露宴情報のみ記載」の案内状を作成いたします。ご希望の場合は内訳を記してください。 披露宴 (開宴時間など)のみ記載 招待状 合計 部 のうち 部			

封筒	■ 新郎側住所	■ 新郎側差出人名	☐ 同じ住所で連名にする
	■ 新婦側住所	■ 新婦側差出人名 ☐ (旧姓 ○○)と旧姓を表記する	

返信はがき	■ 新郎側住所 〒 ☐ 封筒と同じ	■ 新郎側受取人名	枚	☐ 同じ住所で連名にする
	■ 新婦側住所 〒 ☐ 封筒と同じ	■ 新婦側受取人名 ☐ (旧姓 ○○)と旧姓を表記する	枚	

ふせん	☐ 乾杯依頼 (定型文) 枚	☐ 受付依頼 (定型文) 枚	☐ 返信はがきに「食物アレルギー確認用の文章」を加える 【独自文面記入欄】 (※) 旧字や外字などよく間違えられる文字のある方は備考欄にてお知らせください。 (※) 返信ハガキの出欠面はあらかじめ印刷されておりますので、内容を変更することは出来ません。 (※) ふせんの定型文はあらかじめ印刷されております。時間の欄は手書きにてご記入いただくか、時間の印刷をご希望の場合は、オリジナル文章のふせんとしてご指示くださいませ。
	☐ 祝辞依頼 (定型文) 枚	☐ 余興依頼 (定型文) 枚	
	☐ 挙式案内 (定型文) 枚		
	☐ オリジナル(1) 枚		
	☐ オリジナル(2) 枚		

ペーパーアイテム◎原稿のご提出／校正に関して

彩紙家本舗 東堂
irogamiyahonpo azumadou

◆原稿について◆

【こちらのファイルへ直接入力していただいたものをメールにて送信】もしくは【プリントしたあと、手書きにて記入したものを郵送／FAX】のどちらかでご提出ください。

入力（記入）いただいた原稿用紙は、保存などし、お手元に控えを残すようお願いいたします。

◎席数が1データに入りきらない場合は、データを2つに分けてお送りください。

◎原稿用紙は会場指定のものがある場合は、そちらをお送りください。その場合、この弊社用紙への入力（記入）は不要です。

◎席次表・招待状の内容で、肩書きや上席順など不明な点は、会場ご担当者様の指示に従ってご入力（記入）ください。

◎手書きの場合は、略字など崩した文字を使用せず、ハッキリとした文字でご記入下さい。

◎原稿ご提出後の大幅なご変更は、変更費用発生の対象となることがありますのでご注意ください。

◆印刷データのご確認について◆

印刷前に「お客様による印刷内容確認（校正）」をお願いしております。

原稿ご提出後、約一週間で刷り内容見本をご用意し、E-mail（PDFファイル添付）またはFAXのいずれかでお送りいたします。

修正箇所があれば、FAXまたはE-mailにてご指示ください。修正したものを再度お送りいたします。

お客様より「校了／印刷OK」のご返事をいただいた後の印刷となります。（校了後、修正が発生しますと別途料金が必要となる場合がありますので、ご注意ください。）

【原稿ご提出先】

彩紙家本舗 東堂

印刷注文mail: irogamiya@gmail.com

〒476-0003 愛知県東海市荒尾町油田38Tel 052-604-0818 Fax 052-604-5803

営業時間10:00～19:00／水曜日定休

▼ 印刷見本確認（校正）について、情報をご入力（記入）ください。

■お名前 ふりがな

■電話番号

様

■メールアドレス1

@

メール送受信が不可の場合はFAX番号をご記入ください。

■メールアドレス2

@

■FAX番号

※ 原稿送信の際、双方にご連絡が必要な場合はチェックをいれてください。

■備考欄